



「みやざきボランティア体験月間2024」 (7~9月)

報告書



【提唱団体】

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

【後援団体】

宮崎県

宮崎県教育委員会

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

【協力団体】

市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）

NPO法人・ボランティア団体



はじめに

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置付けて、市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）やNPO法人・ボランティア団体の協力のもと様々なボランティア体験プログラムを提供し、県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援しています。

昨年度よりアフターコロナとなる中、今年度は体験者数でコロナ禍前の9割、総参加者数では8割強にまで回復しています。また、台風の影響により延期での実施予定の地域もありますが、ほぼ全地域において予定されたプログラムが実施されました。

今年度の体験プログラムとしては全59本実施され、総参加者数は企画・運営などに協力いただいたNPO法人・ボランティア団体などの方々と合わせると、3,548名（昨年度3,055名、+493名）となりました。

引き続き、今後の更なる活動の活発化に向けて、各地域における実施プログラムの創意工夫により、ボランティア活動への参加促進の取り組みをより一層進めていきたいと考えます。

この度、期間内に実施された全てのプログラムを本報告書に取りまとめましたので、今後のボランティア活動への意識の向上や、参加への一助になれば幸いです。

最後に、本体験月間に御協力・御尽力いただきました各市町村社会福祉協議会やNPO法人・ボランティア団体の方々をはじめ、御協力をいただきました全ての方々に、改めて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

引き続き、本事業推進への御理解・御協力の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年12月吉日

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

目 次

1	世代別参加者数	1
2	分野別参加者数	2
3	年度別参加者数推移	3
4	ボランティア体験プログラムの内容	
(1)	宮崎市社会福祉協議会	『ボランティア体験メニュー』 4 『障がい者の理解とボランティア』 5 『～ふくしについて考えよう2024～』 6 『【～高齢者サロン活動のお手伝い～】』 7 『わんぱくふくし体験「手話を体験！」 聴覚障がい者と交流しよう』 8 『絵本の読み聞かせ体験』 9
(2)	都城市社会福祉協議会	『公民館清掃活動』 10 『県下一斉ボランティアの日体験活動』 11 『夏休み子ども寺子屋サロン』 12 『ふるさとへの郷土愛を育む』 13
(3)	延岡市社会福祉協議会	『ブラックバス釣り駆除・周辺の清掃活動』 14 『子ども食堂』 15 『アニマルバディ』 16 『おもちゃの修理・マスコット作成』 17
(4)	日南市社会福祉協議会	『みんなでボランティア』 18
(5)	小林市社会福祉協議会	『まちあるき × ゴミ拾い』 19 『暮らしの困り事助け隊』 20 『ボランティア体験事業』 21
(6)	日向市社会福祉協議会	『夏休み児童サポートボランティア』 22
(7)	串間市社会福祉協議会	『家族で炊き出し体験教室』 23
(8)	西都市社会福祉協議会	『県下一斉ボランティア活動の日 「一掃キレイ！大作戦」』 24
(9)	えびの市社会福祉協議会	『“お年寄りの”「困りごとお助け隊」』 25
(10)	三股町社会福祉協議会	『障がい者ガイドヘルプ体験・県下一斉ボランティア の日（第29回エコロジーボランティア）』 26 『「つ・な・が・る 味噌づくり」体験』 27
(11)	高原町社会福祉協議会	『たかはるをきれいにしよう会』 28 『人生の先輩と語らう会』 29 『点字をやろう会』 30

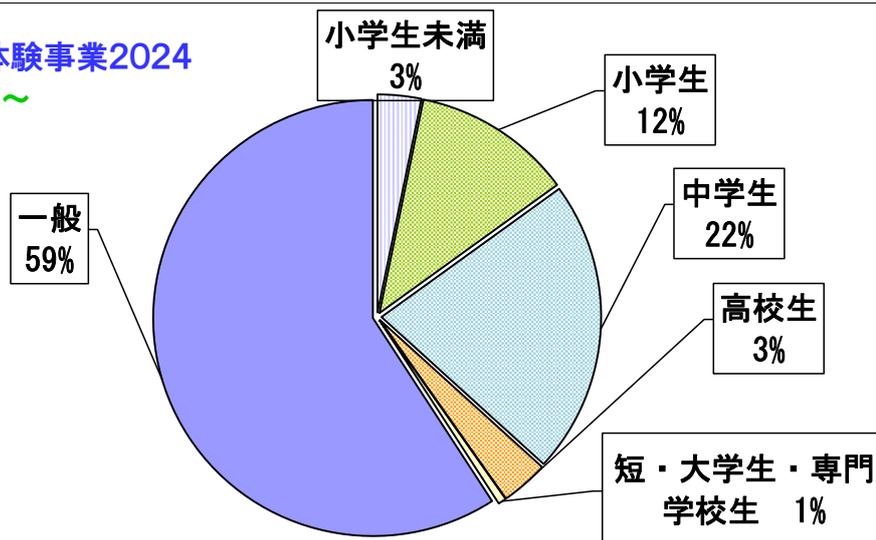
(12)	国富町社会福祉協議会	『第21回「きれいなまちづくりボランティアのつどい」』	3 1
(13)	綾町社会福祉協議会	『みやざきボランティア体験月間 in あや』	3 2
		『環境ボランティア』	3 3
(14)	高鍋町社会福祉協議会	『ペットボトル・ペットボトルのキャップを集めよう!』	3 4
		『手話で会話をしよう』	3 5
		『鳴野浜をきれいにしよう!』	3 6
		『地域ふれあい食堂でボランティア』	3 7
(15)	新富町社会福祉協議会	『富田浜クリーン活動』	3 8
(16)	西米良村社会福祉協議会	『ふれあいガーデニング』	3 9
		『使用済切手を送ろう』	4 0
		『高齢者との清掃活動体験』	4 1
(17)	木城町社会福祉協議会	『手話教室』	4 2
		『防災講座』	4 3
(18)	川南町社会福祉協議会	『みんなで守ろう!伊倉浜海岸!』	4 4
(19)	都農町社会福祉協議会	『音声訳ボランティア』	4 5
		『折り紙で街を飾ろう』	4 6
		『花いっぱいになーれボランティア』	4 7
(20)	門川町社会福祉協議会	『クリーン作戦』	4 8
(21)	諸塚村社会福祉協議会	『生まれ変わるエコキャップ』	4 9
		『第1回「スポーツ×ボランティア体験 in もろつか」』	5 0
(22)	椎葉村社会福祉協議会	『松尾ボランティアのつどい(体験編)』	5 1
		『サロンふれあい体験』	5 2
(23)	高千穂町社会福祉協議会	『わが町応援隊～地域子ども食堂まんまるカフェ』	5 3
		『ボランティア体験事業～音訳ボランティア体験』	5 4
		『わが町応援隊～手話教室』	5 5
		『ボランティア体験事業～絵てがみ教室』	5 6
		『ボランティア体験事業～絵てがみ教室』	5 7
		『わが町応援隊～ふらいぱん de パン』	5 8
		『青少年ワークキャンプ』	5 9
		『わが町応援隊～地域子ども食堂まんまるカフェ』	6 0
(24)	日之影町社会福祉協議会	『あなたの望み叶えます』	6 1
(25)	五ヶ瀬町社会福祉協議会	『夏ボランティア体験隊!』	6 2
		『加勢の日』	6 3
		『みんなの防災じゅく』	6 4

「みやざきボランティア体験月間2024」～世代別参加者数～

※斜線は本所分に集計

No	社 協 名		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	総参加者数
1	宮崎市	本 所	0	0	17	16	14	6	53
		清武支所	0	10	1	0	0	18	29
		田野支所	0	0	10	0	0	33	43
		佐土原支所	2	9	2	0	0	21	34
		高岡支所	4	5	7	0	0	9	25
2	都城市	本 所	0	0	210	0	0	20	230
		山之口支所							0
		高城支所						10	13
		山田支所	0	27	30	0	0	36	93
3	延 岡 市		0	4	101	6	2	197	310
4	日 南 市		2	3	2	40	3	105	155
5	小林市	本 所	0	2	8	11	0	41	62
		須木支所	0	0	22	0	0	10	32
		野尻支所	0	0	0	3	0	3	6
6	日向市	本 所	0	0	0	27	0	0	27
		東郷支所							
7	串 間 市		2	13	0	0	0	18	33
8	西 都 市		0	0	0	0	0	22	22
9	え び の 市		0	0	92	0	0	21	113
10	三 股 町		3	1	16	0	0	500	520
11	高 原 町		0	0	0	0	1	42	43
12	国 富 町		0	3	1	0	0	51	55
13	綾 町		0	22	37	0	0	2	61
14	高 鍋 町		80	17	25	8	0	175	305
15	新 富 町		4	10	83	3	0	131	231
16	西 米 良 村		0	20	0	0	0	33	53
17	木 城 町		0	27	0	0	0	53	80
18	川 南 町		1	8	61	2	1	90	163
19	都 農 町		0	27	0	0	0	13	40
20	門 川 町		0	0	4	0	0	71	75
21	諸 塚 村		16	13	3	5	0	143	180
22	椎 葉 村		0	4	0	0	0	49	53
23	美郷町	本 所	0	0	0	0	0	0	0
		南郷事業所							0
		西郷事業所							0
		北郷事業所							0
24	高 千 穂 町		0	176	6	1	0	91	274
25	日 之 影 町		0	0	0	0	0	59	59
26	五 ヶ 瀬 町		0	17	32	2	0	25	76
総参加者数			114	418	773	124	21	2,098	3,548

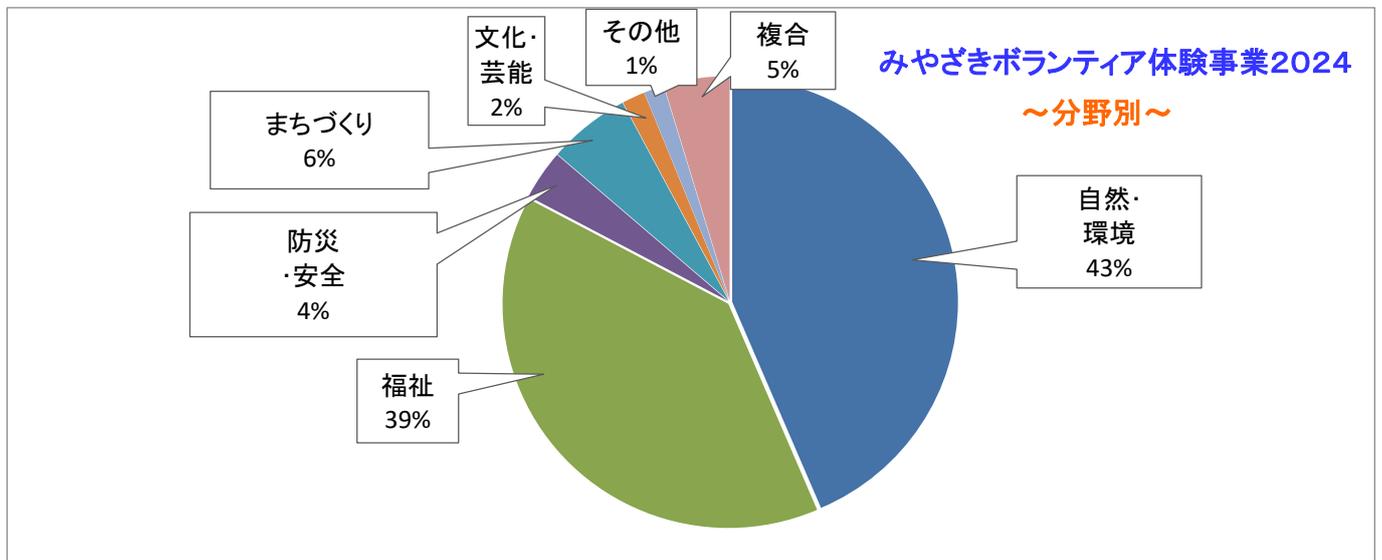
みやざきボランティア体験事業2024
～世代別～



「みやざきボランティア体験月間2024」～分野別参加者数～

※斜線は本所分に集計

		自然・環境	参加者数	国際交流・多文化共生	参加者数	福祉	参加者数	防災・安全	参加者数	まちづくり	参加者数	文化・芸能	参加者数	複合	参加者数	その他	参加者数	プログラム数	参加者数	協力者数
宮崎市	本所				1	11								1	42			2	53	0
	清武支所				1	18												1	18	11
	田野支所				1	30												1	30	13
	佐土原支所				1	34												1	34	0
	高岡支所				1	7												1	7	18
都城市	本所	1	227															1	227	3
	山之口支所																	0	0	0
	高城支所																	0	0	0
	山田支所				1	8												1	8	5
	高崎支所	1	16		1	41												2	57	36
延岡市	1	44			1	45										2	41	4	130	180
日南市	1	151																1	151	4
小林市	本所				1	32												1	32	30
	須木支所				1	22												1	22	10
	野尻支所				1	6												1	6	0
日向市					1	27												1	27	0
串間市							1	28										1	28	5
西都市	1	6																1	6	16
えびの市					1	92												1	92	21
三股町					1	482								1	6			2	488	32
高原町	1	3			2	30												3	33	10
国富町	1	51																1	51	4
綾町	1	22			1	39												2	61	0
高鍋町	2	237			1	6			1	10								4	253	52
新富町	1	216																1	216	15
西米良村	1	30			1	10			1	7								3	47	6
木城町					1	12	1	9										2	21	59
川南町	1	163																1	163	0
都農町	1	7			1	6			1	16								3	29	11
門川町	1	69																1	69	6
諸塚村					1	32								1	86			2	118	62
椎葉村					2	51												2	51	2
美郷町	本所																	0	0	0
	南郷事業所																	0	0	0
	西郷事業所																	0	0	0
	北郷事業所																	0	0	0
高千穂町					3	27	1	5	1	135	1	47						6	214	60
日之影町							1	42										1	42	17
五ヶ瀬町					2	49	1	18										3	67	9
プログラム数計		15	1,242	0	0	29	1,117	5	102	4	168	1	47	3	134	2	41	59	2,851	697



「みやざきボランティア体験月間2024」
年度別 参加者数推移(直近3年間)

※は期間外に実施

一は本所に含む

No.	社 協 名		総参加者数(体験者 + 企画・運営者)			うち R6年度 企画・運営者数	前年度比 増減
			R4年度	R5年度	R6年度		
1	宮崎市	本 所	10	47	53	0	6
		清武支所		18	29	11	11
		田野支所		46	43	13	▲ 3
		佐土原支所		30	34	0	4
		高岡支所		27	25	18	▲ 2
2	都城市 ※	本 所		270	230	3	▲ 40
		山之口支所		—	—	—	—
		高城支所		—	—	—	—
		山田支所		—	13	5	13
		高崎支所	39	53	93	36	40
3	延岡市		65	182	310	180	128
4	日南市		195	4	155	4	151
5	小林市	本 所	18	26	62	30	36
		須木支所		27	32	10	5
		野尻支所	10	8	6	0	▲ 2
6	日向市	本 所	34	7	27	0	20
		東郷支所					
7	串間市		19	21	33	5	12
8	西都市		10	16	22	16	6
9	えびの市		104	82	113	21	31
10	三股町		554	598	520	32	▲ 78
11	高原町			55	43	10	▲ 12
12	国富町		48	75	55	4	▲ 20
13	綾 町		32	42	61	0	19
14	高鍋町		118	167	305	52	138
15	新富町		158	266	231	15	▲ 35
16	西米良村			0	53	6	53
17	木城町		44	77	80	59	3
18	川南町			166	163	0	▲ 3
19	都農町		18	53	40	11	▲ 13
20	門川町		130	113	75	6	▲ 38
21	諸塚村		176	339	180	62	▲ 159
22	椎葉村		38	38	53	2	15
23	美郷町 ※	本 所		75	0	0	▲ 75
		南郷事業所		—	—	—	—
		西郷事業所		—	—	—	—
		北郷事業所		—	—	—	—
24	高千穂町		23	30	274	60	244
25	日之影町			74	59	17	▲ 15
26	五ヶ瀬町		81	23	76	9	53
合 計			1,924	3,055	3,548	697	493

※ ご参考 「上記以外で期間外実施となったもの」

		参加者総数
No. 2	都城市「山之口ボラ連協による花配り」6月16日(日)~18日(金)	14名
No. 23	美郷町「七夕ボランティア体験」6月28日(金)実施	47名

「実施予定プログラムが延期にて今後実施予定」

No. 20	門川町「段ボールベッドで避難体験」~台風被災により延期	20名予定
--------	-----------------------------	-------

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会（本所）
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験メニュー						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	宮崎市内の福祉施設にボランティアの受け入れ状況や、希望するボランティア内容などの調査を行い、ボランティア体験メニューを作成した。 宮崎市内の学校や各地区社会福祉協議会、本会来所者等への周知を行い、本体験メニューをきっかけに、ボランティア活動ならびに福祉に対する活動への理解を深めることを目的として実施した。						活動分野	
							複数の分野	
実施日	令和6年7月1日(月) ~ 9月30日(月)							
活動場所 (建物名等)	各福祉施設、団体等の活動場所							
協力団体								
総数 (体験者数+協力者数)							42名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			17	7	14	4	42名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>昨年度は受入れ施設・団体が100か所であったが、今年度は118か所に増加し、今後ボランティア受け入れ先がさらに増加するのではないかと予想する。</p> <p>本体験メニューを活用してボランティア希望の相談に対し、一緒にボランティア先を探すことができ、より相談者が望むボランティア活動につなげることができたと考える。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会（本所）
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名	障がいの理解とボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	<p>障がい福祉やボランティアに関心のある方や、これから担う若い世代を対象に、障がいへの正しい理解を深め、実際のボランティア活動を体験することで、地域社会の一員として、困っている人に配慮できる人材育成につなげることを目的に開催。</p> <p>当事者からの講話、ニュースポーツ体験等を行い、まとめとして自分たちにもできることは何かをグループで意見共有を行った。</p>						活動分野
実施日	令和6年8月1日(木) ※受講後のボランティア体験は別途実施。						
活動場所(建物名等)	宮崎市総合福祉保健センター						
協力団体							
総数 (体験者数+協力者数)							11名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			0	9		2	11名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を中心に、一般の方にもご参加いただいた。 ・ニュースポーツ体験では障害のある方と参加者が終始楽しく交流する姿がみられ、ニュースポーツを通して「障がいのある方の大変さを知った」「パラスポーツ指導員を目指してみたい。」など障がい福祉に興味を持っていた様子であった。 ・講座のまとめとしてグループワークを行った。「優しく見守ったり、必要な時は手助けしたい。」「日頃から相手の立場に立ち、助けを求める人が居ないか気を配る。」といった本講座の目的である自分にもできることは何かを考える機会になったのではないかと思います。入門講座受講後、9月7日に行われたみやざきボランティア応援★フェスティバルのボランティアに参加していただいた。 						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 清武支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名		～ふくしについて考えよう2024～					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	核家族化や少子高齢化が進む中、子どもを取り巻く環境は著しく変化しており、福祉教育の重要性も一層高まってきている。 小学3年生～6年生を対象に、手話体験を通して障がいがある方の日常生活を送る上での不便さや大変さを感じ取り、様々な立場の方の気持ちを考えられるきっかけにしてもらうことを目的とし、清武手話サークル「てとてとて」の手話を体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月23日(火)						
活動場所(建物名等)	清武町総合福祉センター 会議室						
協力団体	清武手話サークル てとてとて						
総数 (体験者数+協力者数)							29名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		10	1			7	18名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生		短・大学生 専門学校生	一般	計
						11	11名
活動の様子など	<p>難聴理解かるたを使って、聞こえない・聞こえにくいということは、「どんなことに困るのだろう」「どんなことを気をつけたらよいのだろう」とみんなで考えました。</p> <p>「聞こえにくさ」の体験は、2人1組となり、ヘッドホンから聞こえる雑音を聞いている人が、相手の声を聞きとる体験などを行いました。身振りを加えて、空書をして……と相手に伝えるために工夫をすることの大切さを学びました。</p> <p>あいさつの手話は「おはよう」や「さようなら」「ごめんなさい」など日常的に使う手話を学びました。</p> <p>福祉体験が終わり、帰る際には「ありがとうございました。」と手話を使いながら参加者が帰る姿がありました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 田野支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名	【～高齢者サロン活動のお手伝い～】 地域のサロン活動のお手伝いや、体操や手遊びゲームなどで高齢者と触れ合いましょう！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	田野町内で開催のわくわく広場（サロン活動）にボランティア活動したり、高齢者との交流を深めながら、活動を体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年 7月 24日（水） 9：30～12：00						
活動場所（建物名等）	田野町交流センター 東分館						
協力団体	田野わくわく広場「あづま会」・ほほえみ民話紙芝居						
総 数 （体験者数+協力者数）							43名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			10			20	30名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						13	13名
活動の様子など	<p>中学生ボランティアは福祉バスを利用して、わくわく広場「あづま会」のサロン活動に参加しました。当日はレクレーション活動で参加団体の「ほほえみ民話紙芝居さん」のお手伝いで、高齢者と一緒に健康体操や介護予防ゲームを体験しました。</p> <p>一緒に健康体操や介護予防ゲームを体験する事で、高齢者の接し方や話し方などを学んでいる様子が伺えました。</p> <p>サロンに参加された高齢者は中学生と楽しい時間を過ごせた事が嬉しかったようで、帰り際に「また来てくださいね」と涙ぐまれていらっしゃいました。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 佐土原支所
-------	------------------

ボランティア体験プログラム名		わんぱくふくし体験 「手話を体験！」聴覚障がい者と交流しよう					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	福祉やボランティアに興味を持ってもらうため、手話を体験し、聴覚障がい者との交流をすることで、言葉を伝える難しさやその大切さを学び、福祉を理解することを目的に開催。 昨年開催したところ好評で、今年は2回連続講座とし「手話講座」と「当事者との手話交流」を実施する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年 7月 20日(土) 13:30~15:30 令和6年 7月 27日(土) 10:00~12:00						
活動場所 (建物名等)	宮崎市佐土原総合文化センター 研修室						
協力団体	佐土原手話サークル						
総 数 (体験者数+協力者数)							34 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	1	4	1			9	15 名
	1	5	1			12	19 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0 名
活動の様子など	<p>*手話を学ぶ 資料を基に、手話とは何か?手話の種類などの講話と、実践として手話と指文字を学ぶ。 次週の「聴覚障がい者との交流」で手話会話ができるように、自身の名前・生年月日や家族構成などを、講師に聞きながら手話を練習をした。</p> <p>*交流会 聴覚障がい者2名を講師に迎え、日頃の生活や小学生でも手伝える障がい者支援などを聞いた。 自己紹介の時、参加者は自己紹介ができるか不安だったが、講座の時の練習やひそかに練習した効果もあり、手話がきちんと伝わっていた。 次に、手話ゲームをしながら「野菜」「果物」「スポーツ」「動物」などの手話をお二人から教えてもらい、手話伝言ゲームも正確に伝わっていた。 その他、質問や手話の過去と現在の違いなど実施、楽しく過ごした。</p>						 

※7月~9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 高岡支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名		「絵本の読み聞かせ体験」						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	【目的】 ボランティア活動に興味を持ち、活動に参加するきっかけを作る 【活動内容】 ①読み聞かせボランティアの活動を見学したあと、手順やポイントのレクチャーを受ける。絵本を選び、読む練習を行う。 ②選んだ本を使用して、実際に参加者の前で読み聞かせを行う。						活動分野	
							福祉	
実施日	・1回目：令和6年8月17日(土)10時～11時30分 ・2回目：令和6年8月24日(土)10時～11時30分							
活動場所 (建物名等)	高岡地区交流センター図書室							
協力団体	・穆園おはなしの会 ・うちやまこども園(児童クラブ)							
総数 (体験者数+協力者数)	体験者7名・協力者18名						25名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			7				7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	4	5				9	18名	
活動の様子など	<p>1回目は、ボランティアの方が行う「絵本の読み聞かせ」を聞いたあと、絵本の選び方や持ち方、声の出し方など読み聞かせの手法を習い、読みたい絵本を選んだ。</p> <p>2回目は、選んだ絵本を使って子ども達の前で「絵本の読み聞かせ」を行ったが、何度も読みの練習を重ねて実践の場に挑んだ様子だった。</p> <p>体験者からは、今回のボランティア体験に参加したことで人前で話をする機会や読み聞かせの楽しさを知れた、たくさんの人たちと関わることの重要性を感じ取れたなどの感想が寄せられた。</p>							



※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会（本所）
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名		公民館清掃活動						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高城中学校生徒会を中心に、地域貢献のため、自分の住んでいる公民館の清掃活動を行う。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和6年 8月 23日（金）							
活動場所（建物名等）	高城地区内公民館12か所 （第1自治公民館から第12自治公民館公民館）							
協力団体	高城中学校生徒会 地域ボランティア							
総数 （体験者数+協力者数）							230名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			210			17	227名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>高城中学生が地域貢献のために、生徒が主体となりボランティア体験（公民館清掃活動）に参加。公民館の中や外の清掃、草取り、ゴミの分別などを行った。なかには清掃活動終了後、地域の方と生徒との意見交換をする地区もあり活動を通して、地域の方と交流できる貴重な体験となった。今後も地域の方々との交流が深められるようなボランティア活動ができるといいと感じた。</p> <p>公民館もきれいになり、地域の方々との交流もできて、素晴らしい経験となった。</p>							

社 協 名	都城市社会福祉協議会 高崎サテライト
-------	--------------------

ボランティア体験プログラム名	県下一斉ボランティアの日体験活動						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高崎総合運動公園およびパークゴルフ場から高崎中学校までの周辺道路のゴミ拾いを地域のボランティアと一緒にやる。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年 7月 27日(土)						
活動場所(建物名等)	高崎総合運動公園および周辺道路						
協力団体	高崎町ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							42名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
			16				16名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
						26	26名
活動の様子など	<p>高崎総合運動公園およびパークゴルフ場から高崎中学校までの周辺道路のゴミ拾いを地域のボランティアと一緒にやる。 2時間ほど活動を行い、参加者の皆さんも気持ちよく帰路につかれた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

都城市社会福祉協議会 高崎サテライト

ボランティア体験プログラム名		夏休み子ども寺子屋サロン						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高崎地区社協主催の事業。 地区内の小学生を対象にした「学習」、「交流」、「遊び」の体験活動を行うサロンで、中学生が地域ボランティアといっしょに講師補助 及び 小学生の活動の支援を行う。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和 6 年 7 月 23日 (火) ~ 7 月 25日 (木)							
活動場所 (建物名等)	さわやか館							
協力団体	高崎地区社会福祉協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							51 名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		27	14				41 名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						10	10 名	
活動の様子など	<p>小学生が夏休みの宿題を行う中で、分からないところを中学生のボランティアの方が丁寧に分かりやすく教えていただきました。</p> <p>また、今まで小学生としてサロンに参加していた生徒が、中学生となり今度はボランティアとして協力いただく生徒もいらっしゃいました。</p> <p>今後も活動を継続していきたいと思います。</p>							



※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会 山田サテライト
-------	--------------------

ボランティア体験プログラム名	ふるさとへの郷土愛を育む						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	山田地区の忠霊塔の清掃や手すり塗装のボランティア活動を通して、身近な歴史としての「戦争・平和」について学ぶ。						活動分野
							福祉
実施日	令和 6 年 8 月 9 日 (金)						
活動場所 (建物名等)	旧山田総合支所東側駐車場にある忠霊塔						
協力団体	山田地区戦没者遺族会、山田地区社協、山田地区民生委員児童委員、山田町VO連、ジュニアボランティアひまわり隊、山田総合支所地域生活課、都城市社会福祉協議会山田サテライト						
総 数 (体験者数+協力者数)							13 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			3			5	8 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						5	5 名
活動の様子など	<p>毎年、8月15日に山田地区戦没者遺族会主催で「山田地区戦没者追悼式」を開催。忠霊塔への階段手すりの塗装が剥げており中学生と一緒に塗りなおしを実施。</p> <p>作業に入る前に遺族会会長から自身の体験を含めて、戦時中の山田地区や児童の様子、食生活などについてや、忠霊塔の歴史についても分かりやすく丁寧に話をいただき、参加した大人も初めて聞くこともあり、改めて「戦争・平和」について考える機会となった。</p>						  

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～ブラックバス釣り駆除・周辺の清掃活動～							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 NPO法人金堂ヶ池を美しくする会に協力を得て、外来魚（ブラックバス）の駆除活動、及び周辺の清掃活動を行う。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	7月21日（日） 8月4日（日）・8月18日（日） 9月1日（日）・9月15日（日）							
活動場所 (建物名等)	西階公園金堂ヶ池							
協力団体	NPO法人金堂ヶ池を美しくする会							
総 数 (体験者数+協力者数)							74	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		2	32	1		9	44	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						30	30	名
活動の 様子など	<p>魚釣りが好きな方々が、自分の特技を生かしたボランティア活動ができるということで、沢山の参加がありました。</p> <p>また、清掃活動は公園を散策している一般の方にも励ましの声をかけられる等、交流活動にも繋がっていました。</p> <p>一度だけの参加ではなく、継続した活動につながりました。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～子ども食堂～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市内の子ども食堂に協力得て、調理、配膳、受付、消毒作業等を体験。						活動分野	
							福祉	
実施日	子ども食堂のべおか今山：8月26日（土） 子ども食堂恒富：7月15日（土）、9月16日（土） みんなの食堂♡牧：9月21日（土） 土々呂食堂：8月26日（土） 土曜給食：7月15日（土）、9月16日（土） にこにこキッチン：9月28日（土）							
活動場所 (建物名等)	子ども食堂のべおか今山：山下新天街の中・今山登り口 子ども食堂恒富：恒富公民館、古城町個人宅 みんなの食堂♡牧：牧公民館、無鹿公民館、大門公民館 土々呂食堂：一ヶ岡コミュニティセンター 土曜給食：市内施設 にこにこキッチン：南方東コミュニティセンター							
協力団体	子ども食堂のべおか今山・みんなの食堂♡牧 子ども食堂恒富・土々呂食堂 土曜給食・にこにこキッチン							
総 数 (体験者数+協力者数)							145名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			33	5	2	5	45名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						100	100名	
活動の様子など	各子ども食堂で、調理や食材の盛り付けの手伝い、机や椅子の準備や清掃、消毒作業などを行っていました。 弁当配布に合わせて、食堂スタイルで開催する子ども食堂も増えており、活気のある活動になっていました。 子ども食堂が終了後、スタッフと参加者が交流しながら食事を楽しみ、自分たちが手伝った料理は美味しいという声も上がっていました。 参加していただけることにスタッフも喜ばれていました。							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～アニマルバディ～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、活動へのきっかけづくりを提供する。 アニマルバディに協力を得て、部屋の掃除、動物の世話等を体験。						活動分野	
							その他	
実施日	7月21日(日)・8月4日(日)・8月8日(木) 8月11日(日)・8月12日(月)・8月17日(土) 8月18日(日)・8月20日(火)・8月23日(金) 8月24日(土)・8月25日(日)・8月31日(土) 9月21日(土)・9月22日(日)・9月29日(日)							
活動場所 (建物名等)	構口シェルター							
協力団体	アニマルバディ							
総 数 (体験者数+協力者数)							64	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		2	29			3	34	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						30	30	名
活動の様子など	<p>猫を保護しているシェルター内の清掃や、餌や飲み水の交換を行いました。 配慮が必要な猫もいるので、個々に応じた対応をしていました。 動物に触れ合う機会がない子どもたちに人気のあるボランティア活動です。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～おもちゃの修理・マスコット作成～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 おもちゃ病院のべおかに協力を得て、簡単なおもちゃの修理やマスコット作成を体験。						活動分野	
							その他	
実施日	8月24日（土） 9月14日（土）、9月28日（土）							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	おもちゃ病院のべおか							
総 数 (体験者数+協力者数)							27名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			7				7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						20	20名	
活動の様子など	<p>簡単なおもちゃの修理の手伝いや、マスコット作りを体験しました。 作成したマスコットは、交通安全協会へ寄付し、小学新一年生になる子供に配布されます。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日南市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	みんなでボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動をはじめのきっかけづくりになることを目的に、身近な場所の清掃活動（環境ボランティア）を行う。						活動分野 自然・環境
実施日	令和6年8月4日（日）7時00分～8時30分						
活動場所 (建物名等)	飢肥駅・日南駅・南郷駅周辺						
協力団体	日南市ボランティア連絡協議会、日南市社会福祉施設等連絡会						
総 数 (体験者数+協力者数)							155名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	2	3	2	40	3	101	151名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
	0	0	0	0	0	4	4名
活動の 様子など	<p>日南市内の（飢肥・日南・南郷）駅周辺に分かれ環境美化活動を実施。普段利用する駅周辺も、よく見るとゴミや汚れがあることに気づいた。天井や机椅子の裏側の汚れ、花壇の草やその中にあるゴミなど、朝日を浴びながら、たくさんのゴミを集めました。</p> <p>活動後は、きれいになった駅を見て「すがすがしい気分」と笑顔を見せてくれる学生や、これから駅を利用する方々の笑顔や観光で訪れた方がきれいだなと感じてもらえるようにと活動した方もいました。</p> <p>この活動が、ボランティア活動のきっかけになってもらうよう、今後も継続して活動していきたい。</p>						

- ※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会（本所）
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名	まちあるき × ゴミ拾い						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	多世代交流と郷土愛の育成を目的に、市内を知る「まちあるき」を兼ねた清掃活動を実施する。 地域に詳しい各区長や小林小校区まち協の皆様にご協力いただき、区の名所や文化財、歴史などをご紹介いただく。 ・まちあるきを兼ねたゴミ拾い						活動分野
							福祉
実施日	令和 6 年 8 月 10日（土）						
活動場所 (建物名等)	小林市社会福祉センター周辺地区						
協力団体	区長、小林小校区まち協						
総 数 (体験者数+協力者数)							62名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		2	8	11		11	32名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						30	30名
活動の様子など	<p>7時から1時間程度、まちあるきを兼ねたゴミ拾い活動を行った。地域に詳しい各区長や小林小校区まち協の皆様にご協力いただき、5コースに分かれて区の名所や文化財、歴史などをご紹介いただくことで、参加者も深い学びを得られたようだった。</p> <p>また、世代間の交流によって楽しくゴミ拾いできたという感想が多く聞かれた。世代間の交流によって楽しくゴミ拾いできたという感想が多く聞かれた。ゴミ袋6つ分のゴミを回収した。</p>						  

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会 須木支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名	暮らしの困り事助け隊						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	一人暮らし高齢者、障がい者宅を訪問し、ご自分では難しい、家や庭先の清掃といったニーズに対するボランティアを体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年8月2日(金)						
活動場所(建物名等)	須木地区住民宅						
協力団体	須木地区民生委員・児童委員協議会、須木地区友愛クラブ連絡協議会、鳥田町校区社会福祉協議会、須木地区ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)							32名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			22				22名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						10	10名
活動の様子など	<p>当日は晴天に恵まれ、一生懸命ボランティア活動に取り組まれていた。サポーターや依頼先の方々から、よく頑張っていたとの意見が多く寄せられた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

小林市社会福祉協議会 野尻支所

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験事業						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	学習支援ボランティアグループの設立につなげることを目的に事前に学習支援前から携わり、当日の学習支援ボランティア体験活動を実施した。						活動分野 福祉	
実施日	令和6年7月27日(土)							
活動場所(建物名等)	野尻町保健福祉センター 友愛会館							
協力団体								
総数 (体験者数+協力者数)							6名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				3		3	6名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>ボランティアには事前準備、参加者受付から携わってもらい、ボランティア体験活動をスムーズに実施できた。</p> <p>今回も感染防止対策として、参加者には健康チェックシート記入をお願いし、換気しながら実施した。</p> <p>参加児童には事前準備をお願いしてあったため、児童が何をしたいのか伝えた後、ボランティアのアドバイスを受けながら宿題に取り組むことができた。</p> <p>ボランティアは、習字などの得意分野を活かして意欲的に児童と関わることが出来ていた。</p> <p>また、児童からは「楽しい」「分からない所を教えてもらって、良かった」「また来たい」「スムーズに宿題が出来て良かった」という声があり、保護者からも大変喜ばれた。</p> <p>今回の学習支援ボランティア体験活動を通して、世代間交流を図ることができた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

日向市社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		夏休み児童サポートボランティア					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動を通しての様々な人との関わりが福祉に対する興味・感心を持つきっかけになり、将来について考える機会にすることを目的に、ボランティア活動に参加してみたい学生や子どもと関わることが好きな学生を対象に、児童クラブ内で小学生の遊びや勉強をサポートするボランティア活動の場を提供する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月29日(月)～8月23日(金)						
活動場所(建物名等)	日知屋児童クラブ 財光寺児童クラブ 寺迫児童クラブ 富高児童クラブ			日知屋東児童クラブ 財光寺南児童クラブ 大王谷児童クラブ(児童館)			
協力団体	大王谷児童館 財光寺小学校 日知屋東小学校			日知屋児童センター 財光寺南児童クラブ 富高小学校			
総数 (体験者数+協力者数)							27名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
				27			27名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の様子など	<p>今回のボランティア体験には、ボランティア活動に初めて参加する学生や、児童にあまり関わった経験がない学生も多かったが、積極的に子どもたちに関わろうとしている姿や子どもたちに手紙を書いてプレゼントする場面が見られ、参加した学生一人ひとりがそれぞれの強みを活かしながら活躍できる場となっていた。</p> <p>参加した学生からは、「またボランティア活動に参加したい!」「ボランティア活動を通して自分自身も成長する機会になった」「この活動に参加して、小学生と関わる仕事に今までよりも興味を持つことができ、将来についての考えも自分の中で広がった。」という感想があった。</p> <p>今回のボランティア体験への参加をきっかけに、継続してボランティア活動に取り組んでもらえるよう、今後もボランティア活動の紹介等を行っていきたい。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	串間市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	家族で炊き出し体験教室							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	炊き出し体験を通して子供達が家族とともに災害時に必要な知識を学び、炊き出しの手法やいざという時の役立つ豆知識を知ることによって防災意識を高めることが出来る。						活動分野	
							防災・安全	
実施日	令和6年9月1日(日)							
活動場所(建物名等)	串間市総合保健福祉センター(2階研修室・調理室)							
協力団体	日本赤十字社 宮崎県支部 串間市日赤奉仕団							
総 数 (体験者数+協力者数)							33名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	2	13				13	28名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5名	
活動の様子など	<p>日本赤十字社県支部の方を講師に迎え、「災害時の食事＝食べる事の大切さ」を学んだ後、ハイゼックス袋を使用した炊き出しを親子で体験。奉仕団員の指導の下、災害によりいつも通りの生活が出来なくなった時のご飯の炊き方を学び、あたたかいご飯を提供できる事や茹でる時には、生活用水も活用できる事など知る機会にもなった。</p> <p>また、「災害時の豆知識」として、三角巾を使った救護法や日頃の備えに加え、楽しみながら子どもと一緒に取り組めるお菓子防災リュックを製作。</p> <p>参加者からは、「お米を炊く方法や災害時の備えについて家族で考えるきっかけになった」などの感想を頂いた。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		西都市社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名		県下一斉ボランティア活動の日 「一掃キレイ！大作戦」					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	西都市にある記紀の道及びあいそめガーデン周辺を西都市ボランティア連絡協議会の構成員と地域住民等が協力して清掃・整備を行う。 環境美化活動を通して、参加者同士の新たなつながりを作ると共に、西都市内でのボランティア活動について広く知っていただく機会とする。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和 6 年 8 月 25 日 (日)						
活動場所 (建物名等)	記紀の道及びあいそめガーデン						
協力団体	西都市ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							22 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						16	16 名
活動の様子など	<p>西都市の記紀の道の一部、及び西都市ボランティア連絡協議会の管理する花壇「あいそめガーデン」周辺の草刈り、草抜き、コスモスの種まきを行った。</p> <p>当日は、ガーデン周辺の地域住民にもご参加いただき、環境美化活動を通して西都市ボランティア連絡協議会の活動を知っていただく機会となった。</p> <p>また、参加者同士の貴重な交流の場となり、連帯感を高めることができた。</p>					 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	えびの市社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		”お年寄りの”「困りごとお助け隊」					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高齢者の生活上の困りごとの一つである、庭の草取りや窓ふきなどを、中学生がボランティアとしてお手伝いをする事で、地域課題に触れるとともに地域高齢者との交流を図る。						活動分野
							福祉
実施日	真幸地区：7月29日（月）、上江地区：7月31日（水） 飯野地区：8月1日（木）、加久藤地区：8月9日（木）						
活動場所（建物名等）	えびの市内の高齢者宅						
協力団体	えびの市民生委員児童委員協議会、ケアマネージャー えびの市在宅介護支援センター						
総数 （体験者数+協力者数）	体験者：中学生92名（真幸29名、上江19名、飯野23名、加久藤21名） 協力者：民生委員9名、一般4名、研修生1名、社協職員7名、協力者のべ21名						113名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			92				92名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							21名
活動の様子など	<p>「困りごとお助け隊員」中学生92名は、4~5名のグループに分かれ、市内の高齢者宅20件の草取りや窓ふきなどの清掃活動を行いました。</p> <p>また休憩中には、高齢者の方から昔話を聞いたり、今の学校の様子などをお話したりして、楽しく交流する事ができました。</p> <p>ボランティアを依頼した高齢者からは、「足が弱くなり庭の手入れができないので助かった」「子供たちとの会話が楽しかった」など喜びの声が聞かれ、参加者からは「日頃体験できない活動ができて良かった」「またボランティアに参加したい」など、ボランティア活動の満足感や達成感を感じてもらうことができました。</p>						

※7月~9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。